

ホール席数検討における評価の視点（案）

1. ホール座席検討の基本的な考え方

ホールの席数は、本事業の基本理念と再整備基本方針を踏まえ、ホールの利用目的や具体的な利用イメージ、市民ニーズとの整合性に着目し、利用状況、類似事例、コスト面を考慮して検討します。

2. 評価の視点

ホールの利用目的や利用イメージ及び市民ニーズとの整合に基づく評価とともに、文化芸術以外の利用に留意するため、現状の藤沢市民会館の利用状況との整合や、藤沢市内外の利用者を想定するうえでの類似施設や人口規模を踏まえた規模感、及び持続可能な施設とすることに留意したライフサイクルコストの視点を加え、評価の視点とします。

視点①：利用目的や利用イメージ、市民ニーズとの整合

視点②：現状の藤沢市民会館の利用状況との整合

視点③：類似施設を踏まえた規模感

視点④：人口規模を踏まえた規模感

視点⑤：ライフサイクルコスト

3. 調査項目

前項で整理した評価の視点に基づき、主な調査項目として以下を想定しています。

評価の視点① 利用目的や利用イメージ、市民ニーズとの整合

- ・基本理念及び再整備基本方針を踏まえ、想定されるホールの利用目的・イメージの整理
- ・過去の関係団体・市民意見、ワークショップ、サウンディング調査結果の整理
- ・他事例調査による利用目的と席数の把握

評価の視点② 現状の藤沢市民会館の利用状況との整合

- ・ホールの現状の利用状況（利用内容、利用者、稼働率、利用人数など）の把握
- ・上記利用状況に対する施設内容との不整合などの把握

評価の視点③ 類似施設を踏まえた規模感

- ・藤沢市内ホール（藤沢市民会館以外を含む）の利用状況の把握
- ・県内ホールの事例調査による席数分布状況の把握

評価の視点④ 人口規模を踏まえた規模感

- ・全国のホール統計データによる人口規模、ホール用途等によるホール席数の分布状況の把握

評価の視点⑤ ライフサイクルコスト

- ・施設整備、維持管理、運営等の各段階におけるコストについて、席数規模により想定される影響を定性的に整理

※上記の評価を行うにあたり、参考とする事例の運営状況等について照会中です。